

優秀賞

## こころの花畑

益田 伊織 (大学2年生:埼玉県)

日々感じたことを Twitter、Facebook などの SNS、ブログ等で発信する人が増えている。これらは友人同士、あるいは非常に関心の近い人同士で経験・感情を共有するためには便利だが、偶然の出会いを誘発する契機にかけているように思われる。この「偶然の出会い」を、視覚的楽しさを通じてもたらすゲームを提案する。

参加者は、日々の経験、感情等を短文にまとめ、SNS におけるのと同じように投稿する。しかしその際に 2 点特別なことがある。参加者は投稿に対し内容を分類するための数個のタグをつけ、また選択肢として提示される様々な種の中から自分の投稿に添えるための一輪の花を選ぶ。

こうして集められた投稿を、参加者は「花畑」を通じて視覚的に閲覧できる。この花畑の構成は、タグに基づいた内容別の配列、選んだ花の種に基づく配列を好みで選択可能である。前者の場合、参加者は他者の似た経験に触れることが出来、また他者がその経験をどんな花になぞらえているのかを楽しむ。この花畑は視覚的にもカラフルで魅力に富む。後者の場合、参加者は自分と同じ花の選択をした人がその花にどのような経験を重ねているのかを知ること、共感をもって新たな他者の経験への扉を開くことが出来る。

前述のごとく本ゲームは参加者がそうでなければ会うことのなかったであろう他者の経験に共感、驚きをもって会うことを目的とするが、副次的効果として主催者側には色彩・形態心理学の興味深い材料を、参加者側には植物への関心拡大をもたらすであろう。